

公共事業再評価調査

: 修正箇所

整理番号 H15 - 13

担当部課室名	農林水産部 農村整備課	電話番号	017 - 734 - 9555
		E-MAIL	NOSONSEIBIKA@ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 (5年)	再評価後 (年)	その他 ()
---------	-----	-------------	------------	---------

1 事業概要

事業種別	農業農村整備事業	事業主体	県	市町村	その他 ()		
事業名	県営田園空間整備事業	地区名等	島守盆地	市町村名	南郷村		
事業方法	国庫補助 県単独	財源・負担区分	国50%	県25%	市町村25% その他 %		
採択年度	平成10年度 (用地着手 12年度 / 工事着手 13年度)						
終了予定年度	平成17年度 (平成 年 月計画変更 当初計画時 平成14年度)						
事業目的	南郷村島守地区の恵まれた地域資源を生かし、地域全体を屋根のない博物館(田園空間博物館)にみため、豊かな自然、美しい景観、伝統文化を保存・整備することにより、魅力ある田園空間を創造・保全し、農村の活性化と都市との交流を図るものである。						
主な内容	総合情報館A=499㎡ 萱葺き農家復元A=230㎡ 集落緑化施設A=12,800㎡、遊歩道L=821m、集落道L=250m ホタル水路L=354m 集落農園整備A=11,641㎡ など						
事業費	採択時総事業費 1,350 百万円 (単位:百万円)						
		~12年度	13年度	14年度	15年度	小計	16年度~ 合計
	計画	110	200	400	250	960	390 1,350
	(うち用地費)	(19)	(4)	(12)	(20)	(55)	(22) (77)
実績	110	200	400	250	960	390 1,350	
(うち用地費)	(19)	(4)	(12)	(20)	(55)	(22) (77)	

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況	事業費割合		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	(うち用地費)		71.1% [/]	100% [/]
			(71.4%) [/]	(100%) [/]
	主要工種毎割合 (事業費)	総合情報館、萱葺き農家の復元、集落緑化施設 (585百万円)	74.5%	100%
		遊歩道、集落道 (424百万円)	89.4%	100%
		ホタル水路、集落農園 (341百万円)	42.5%	100%
説明	地域住民の主体的な活動による「人づくり」、「組織づくり」を事業実施の基本に、平成11年2月の事業採択後、地方委員会(3回)やアンケート(1回)、ワークショップ(3回)等を通じて地域の合意形成に努めた。その結果、12年2月の地方委員会で計画の承認を得て、12年度用地買収、13年度工事着手し、現在、計画どおり進捗している。			
問題点・解決見込み	-			
事業効果発現状況	地域住民によるホタル部会や島守四十八社の会などの活動と相まって、ホタル水路や散策道などの整備により子供たちの総合的学習や生涯学習の場が提供され、地域の活性化が促進されている。			

(2) 社会経済情勢の変化

(A) ・ B ・ C

社会的評価	全国・本県における評価	[全国の評価] 農村の有する豊かな自然、美しい景観、伝統文化等を保全し、魅力ある田園空間づくりによる都市との共生を図ることが求められていることから、本事業による整備が必要となっている。	[県内の評価] 本県においては、豊かな自然や伝統、文化という農村ならではの景観・機能にスポットをあて住民が参加・主導しながら、都市住民にとっても「学ぶ」、「体験」、「交流」する場としての整備が必要となっていることから、本事業の活用が要求されている。
	当地区における評価	事業計画は、地域の人々がワークショップを開催し、地域資源の再評価などを行いながら策定したもので、伝統行事や水車小屋の復活等により地域活性化が促進されており、地域丸ごと博物館としての田園空間の整備が必要である。	
必要性	本地区には、伝統行事「えんぶり」、「神楽」などの農林業を土台とした地域文化が今も数多く残されている。また、夏の早朝の朝もやにけむる桃源郷のような神秘的な景観は、青森県を代表する「ふるさと」そのものであり、この伝統と景観を次世代に継承していく必要がある。		(a) ・ b
適時性	博物館は、農村の持つ豊かさに触れながら自然との調和の中で作物を育てる喜びを感じることのできる場であり、食農教育、総合学習の推進といった時代の要請に応えることに加えて、東北新幹線八戸駅開業により、都市からの観光客が増加しており、グリーン・ツーリズム等への参加の促進が期待される。		(a) ・ b
地元の推進体制等	事業完了後は地域住民一人一人が、いわゆる博物館員として主体的に博物館を運営することとしており、住民等で組織された「島守田園空間博物館運営協議会」が、その下部組織として各施設の運営管理にあたる9部会を設立して活動するなど推進体制が整っている。また、日常の維持管理については各部会が行い、造成施設の補修等は南郷村が行うこととなっている。		(a) ・ b
効率性	地域住民が様々な活動を通して、郷土の良さを再認識し、郷土に対する知識を深め誇りが生まれつつある。また、都市住民との交流とともに地域の物産を紹介することにより、地場産業の活性化に寄与するものである。さらに、博物館は、生涯社会参加や生きがいづくりなどの多様な学習の場としての期待が高まっており、幅広い年齢層の利用が考えられる。		

(3) 費用対効果分析の要因変化

A ・ B ・ C

区分	主な項目	計画時	再評価時	増 減
費用項目 (C)	(1)	百万円	百万円	0 百万円
	(2)	百万円	百万円	0 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	- 百万円	- 百万円	0 百万円
便益項目 (B)	(1)	百万円	百万円	0 百万円
	(2)	百万円	百万円	0 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総便益	- 百万円	- 百万円	0 百万円
B / C				
【費用対効果分析手法】 (分析手法、根拠マニュアル等)				
【費用対効果分析における特記事項】 本事業は土地改良法によらない事業であることから、B / Cの算定を行っていない。				

(4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A) ・ B ・ C

コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 本事業で整備する総合情報館と村の産地直売施設は合体施行し、電気設備・給排水設備を共有するなど、工事費及びランニングコストを縮減している。	(a) . b
代替案	【代替案の検討状況】 アンケートやワークショップ等を通じて地域住民の合意形成を図っているほか、「田園空間博物館整備地方委員会」の指導・助言を得て計画されており、妥当である。	(a) . b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A) ・ B ・ C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 事業計画は、ワークショップ、アンケート調査及び学識経験者と地域住民で構成される「田園空間博物館整備地方委員会」で検討・策定されており、さらに実施に当たっては、博物館を管理運営する運営協議会や各部会と検討を重ねて決定したものである。	【住民ニーズ・意見】 地域住民から下記のニーズ等があり計画に反映されている。 ・地域活性化の核となる施設が欲しい。 ・新井田川と湧水が島守盆地では核となっており重要 ・子供、老人など多くの人が利用できる施設が必要 ・りんごなどを育てて収穫体験できる環境が必要	(a) . b
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への対応】 (1) 地域区分 H5b (2) 対応状況 配慮している 配慮していない	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 配慮している 配慮していない	(a) . b
地域の立地特性	過疎地域		

3 対応方針

総合評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	本事業は、農村の有する豊かな自然、伝統、文化等の多面的機能を再評価し、魅力ある田園空間づくりによる都市との交流の推進や農村の活性化を図るなど地域に果たす役割が大きいことから、平成17年度の完了を目指し継続して実施する。			
備考				

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき		
委員会評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見	意見書のとおり			
評価理由				